湖風（うみかぜ）

NALCびわこ彦根・広報誌
第１３０号・平成２９年１１月１０日
彦根市後三条町１２５（安田武雄方）
電話＆FAX０７４９・２３・２５３７
編集・発行責任者・小林　　博

ピンピンコロリ

１．　ピンピンコロリとは

世間で言われえている、「理想の死に方」が「ピンピンコロリ」のようです。ずっと元気で、ボケもせず、寝込みもせず、ある日突然コロッと死んでしまうのがいいということです。周囲に迷惑をかけず、本人も苦しむ暇がない、いいことずくめ、ですがそんなにうまくいくのでしょうか？

２．　健康寿命「ピンピン」を伸ばそう

健康寿命とは、健康上の問題で、「日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されている。現在の日本人の健康寿命は、男性は平均72才、女性は74才と、云われている。一方、平均寿命は男性80才、女性86才なので、男性で8年、女性で12年が、他者の支援が必要になる期間となる。そのため、この期間を短くするための機運が高まってきたことが、ピンピンコロリ運動のもとのようである。しかし、日本の医療状況を外国と比較すると、人口当たりで見た病院病床数が、米国よりも4倍以上多く、入院期間は5倍以上長いとの調査結果がある。

３．　コロリはどうなるの

「ピンピン」の部分にのみ目を向けて「コロリ」のところは、全く考えていないのが現状である。延命だけの医療は希望しないとか、人の世話になるまで生きたくないと、言っている人ほどいざとなると慌てることになる。そのため、早期発見、早期治療となるが、発見されると、そんなに急なことを云われても、心の準備ができていない。と言い乍ら治療を受けることになる。橋田壽賀子さんは、「安楽死を認めて」と主張されているが、そうなるとはとても思えないのが実情である。（安田）

びわこ彦根広報板

〔９月の活動記録〕

時間外預託点数　６点　（１人）
奉仕活動点数　　３点　（３人）

〔運営委員会・月例会〕

実施　　１０月３日（火）ＰＭ１：３０～
予定　　１１月７日（火）ＰＭ１：３０～

〔９月の経過報告〕

*宅老所の開催実績
おしゃべり　４回２７名
パソコン　　０回
卓　　球　　４回２５名
読　　書　　４人８冊
チビッコサロン　１組３名

〔助け合い〕 ０

〔福祉調査センターの活動〕

実施　　１０月　１件（外部評価）
予定　　１１月　１件（外部評価）

〔連絡事項〕

・１１月７日（火）第一火曜はコンキ体操を行います。包括支援センターからも応援に来られます。
・図書コーナーに、市立図書館から地域文庫の本が60～80冊程度、入庫の予定です。
この本を、書棚に並べることも必要ですが、お借りしている本を返却する作業も必要になります。
この作業は、岩崎豊子さんが中心となって行ってきたのですが、休んでおられますので、手助けをお願いします。図書コーナーを利用される方もよろしくお願いします。